

FIGHT CLUB 2

10.5 sat 17:30 start



6th

木村“ケルベロス”颯太 -65kg 3min3R
“CERBERUS” vs YURA
SOTA KIMURA



5th

コントゥアラライ JM ボクシングジム -84kg 3min3R
KONTUALAI vs ABE DAICH 阿部大治
JM BOXINGGYM



4th

山口裕人 -67.5kg 3min3R
YAMAGUCHI vs ABIKO 安部孝直
HIROTO TAKAMASA



3rd

塚本望夢 -55kg 3min3R
TSUKAMOTO vs ITO 伊東龍也
MOMU RYOYA



2nd

MAX 吉田 無差別級 3min3R
MAX YOSHIDA vs SATO 佐藤光希
HIKARU



1st

田上健太 -60kg 3min3R
TANOUE vs SAIGO
KENTA

木村 SOTA "CERBERUS" KIMURA "ケルベロス" 颯太

第3代 DEEP☆KICK -65kg王者
RISEスーパーライト級7位

心将塾

180cm

2000年10月20日(23)

地獄府藤井寺市

オーソドックス

23戦17勝4敗2分(4KO)

✕ @10Cerberus

📷 k_kii02

2024.01.14 ○ チャッピー吉沼 3R判定
2023.11.19 △ 白川陸斗 3R終了判定無
2023.05.06 ○ 城戸康裕 3R判定
2023.04.01 ◎ 進撃の祐基 3RKO
2022.12.25 ◎ 竹内皇貴 2RKO

6th
65kg
3min3R

所属

身長

生年月日

出身地

構え

戦績

SNS

直近の戦績

YURA

元JAPAN CUP KICK ウェルター級王者
元RKS ウェルター級王者
RISEスーパーライト級10位

ダイアタイガージム

176cm

2003年8月18日(21)

宮崎県宮崎市

オーソドックス

13戦13勝(5KO)

✕ @yura_GomiAim

📷 yura_0818_

2024.03.17 ○ KENTA 3R判定
2023.12.03 ○ ねぎ魔神 3R判定
2023.10.15 ◎ 栗原 陵 3RKO
2023.04.23 ○ 漁鬼 3R判定
2023.02.19 ◎ ヴィクトル・アキモフ 3RKO



昨年のFIGHT CLUB記者会見で朝倉未来軍団の「圧迫面接」を受け、ポッコポッコにされた姿から「ケルベロスじゃなくてチワワだ」と揶揄された木村。しかし転んでもただでは起きない木村は、逆にチワワを売りにして前日公開計量では反撃にも転じ、判官びいきの温かいファンから「頑張れ!」との声援を受けた。試合は白川陸斗とドロー(KO決着以外はドロー)に終わったが、知名度を上げることに成功。実は木村、白川戦を除けばあの城戸康裕に勝利するなどして4連勝中と勢いに乗っており、着実に目標とするYA-MAN戦への階段を一步一步上がっているのだ。

しかし、チワワから地獄の番犬復活を目論む木村の前に今回立ち上がったYURAは、九州のホープでなんとプロ13戦全勝。ねぎ魔神、RISE中堅の門番であるKENTAをも破っている。もうひとつの主戦場であるBreaking Downでは、昨年のFIGHT CLUBで山口裕人をKOした西谷大成をKOしており、朝倉未来がその素質に太鼓判を押している。直近では元プロボクサーに連勝をストップされたが、RISEスーパーライト級のホープであることに変わりはない。RISEランキング上位(木村は7位でYURAは10位)を喰うか。それとも地獄の番犬完全復活か。

FIGHT CLUB 2



コントゥアライ

KONTUALAI
JM BOXINGGYM

・JMボクシングジム

IMSA世界ヘビー級王者 / MXムエエクストリーム94kg王者
ボクシング元WBCアジアクルーザー級王者
元ABFアジアウェルター級王者 / RISEライトヘビー級2位

JM Boxinggym

170cm

1988年8月30日 (36)

タイ・ナコンサワン

サウスポー

53戦42勝11敗

📷 kontualai

2023.08.18 × 南原健太 2RKO

2023.06.23 ○ フェルナンド・アルメイダ 3R判定

2023.04.23 ◎ 実方宏介 2RKO

5th

84kg

3min3R

所属

身長

生年月日

出身地

構え

戦績

SNS

直近の戦績

DAICH
ABE

阿部大治

第10代DEEPウェルター級王者
第11代ウェルター級キング・オブ・パンクラシスト
初代J-NETWORKライトヘビー級王者
2011年RISE RISING ROOKIES CUPヘビー級優勝

フリー

180cm

1991年11月27日 (32)

新潟県柏崎市

オーソドックス

MMA 21戦13勝8敗 (8KO)

キック 14戦10勝4敗 (7KO)

✕ @daichiabe_jp

📷 daichiabe.jp

2024.07.14 × 嶋田伊吹 1RKO

2024.02.24 ○ 押忍マン洸太 1RKO

2023.07.30 × イゴール・タナベ 1RKO

2023.02.11 × 鈴木慎吾 2RKO

2022.10.23 ○ 田村ヒビキ 3R判定



意外なファイターがFIGHT CLUB参戦に名乗りをあげた。パンクラス王者からUFC、ONE、DEEP、そしてRIZINとMMAのトップファイターとして活躍する阿部だ。ワールドクラスで活躍してきた阿部がなぜOFGマッチに挑むのか。実は阿部、元々はキックボクサーとしてRISEでプロデビューしており、J-NETWORKでは2014年に初代ライトヘビー級王座にも就いており、10勝(7KO)4敗の好成績を残してMMAに転向したのである。

「自分に向いているルールだと思った」と2014年8月以来となるキックボクシングの試合で対戦するのは、「タイ最凶ファイター」と称され、ボクシング、オープンフィンガーグローブムエタイで王座を獲得しているコントゥアライだ。昨年の「第2代RISEライトヘビー級(-90kg)王座決定トーナメント」では決勝戦で南原健太に敗れているものの、重量級のパンチを持っている危険な相手。阿部は「MMAの打撃で勝負する」と宣言しているが、果たして……!?



FIGHT CLUB 2

HIROTO YAMAGUCHI

山口裕人

WPMF世界スーパーライト級暫定王者／元WBCムエタイ日本統一スーパーライト級王者／元イノベーションスーパーライト級王者／元DEEP☆KICK-63kg、-65kg級王者

道化倶楽部

170cm

1992年5月20日(32)

大阪府松原市

オーソドックス

51戦28勝22敗1分(18KO)

✕ @hrt_1

📷 hirototo520

2024.06.15 ✕ 伊藤澄哉 2RKO

2023.11.19 ✕ 西谷大成 1RKO

2023.08.26 ✕ YA-MAN 2RKO

2023.03.26 ◎ タリソン"Crazy Cyclone"フェレイラ 2RKO

2022.08.21 ✕ タップロン・ハーデスワークアウト 3RKO

4th
67.5kg
3min3R

所属

身長

生年月日

出身地

構え

戦績

SNS

直近の戦績

TAKAMASA ABIKO

安彦考真

初代EXECUTIVE FIGHT～BUSHIDO-75kg級王者

Y.S.C.C.キックボクシングチーム

175cm

1978年2月1日(46)

神奈川県相模原市

オーソドックス

6戦3勝2敗1分(3KO)

✕ @Abitakamasa

📷 abitakamasa

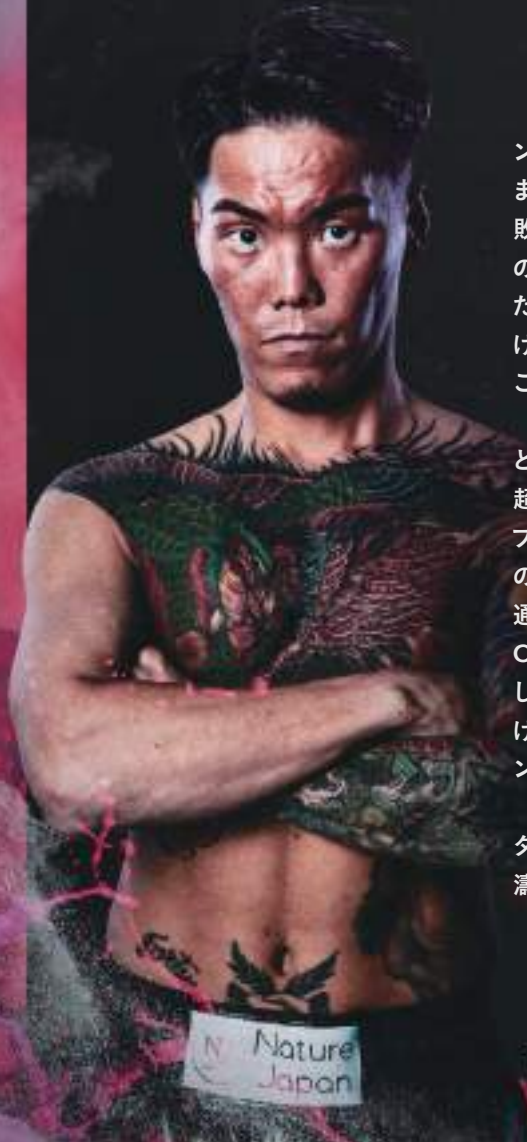
2024.06.30 ◎ 西田祥 2RKO

2023.11.19 ✕ 前口太尊 2RTKO

2023.03.26 ✕ KENTA 3R判定

2022.10.22 △ パトリック・カバシ 3R判定

2022.06.24 ◎ YO UEDA 2RKO



お互い絶対譲れない一騎討ちだ。

昨年8月、YA-MANとRISEオープンフィンガーグローブ-65kg級王座を争いダウンまで奪った山口裕人はその一戦も含め3連敗中。かつて弟・山口侑馬とともに、RISEのオープンフィンガーグローブ戦線を賑わした栄光は錆びれつつある。まだ32歳、老け込む歳ではあるまい。復活の扉を開けることができるか。

対する安彦考真は年俸120万円Jリーガーとして話題となり、格闘技界に転向してきた超個性派。サッカー選手としてはブラジルでプレイしたこともあり、ポルトガル語はお手の物だ。RISEの会見ではブラジル選手の通訳を務めたこともある。前回のFIGHT CLUBの前口太尊戦では試合中に肩を負傷し無念のドクターストップ負けを喫しているだけに、今回の山口戦に懸ける意気込みはハンパでない。

試合は山口が先に仕掛け、安彦がカウンターを狙う展開が軸となりそう。山口の怒濤の一撃か。安彦の変幻自在のステップか。



FIGHT CLUB 2

MOMU TSUKAMOTO

塚本望夢

初代 DEEP☆KICK -51kg 王者
RISE フライ級 3位

team Bonds

163cm

2005年10月6日 (18)

兵庫県加古川市

オーソドックス

16戦 12勝 4敗 (4KO)

✕ @momu_tsukamoto

📷 momu.tsukamoto

2024.09.08 ◎ 弾丸風太 1RKO

2024.06.15 ✕ 那須川龍心 3R判定

2024.02.23 ○ JIN 3R判定

2023.10.29 ○ 酒井柚樹 3R判定

2023.07.02 ◎ 山川敏弘 1RKO

3rd
55kg
3min3R

所属

身長

生年月日

出身地

構え

戦績

SNS

直近の戦績

RYOYA ITO

伊東龍也

Stand up King of Rookie 2022 -55kg 級優勝
RISE バンタム級 10位

HAYATO GYM

165cm

1995年12月9日 (28)

東京都江戸川区

サウスポー

8戦 7勝 1敗 (3KO)

✕ @ryoya_punching

📷 punching_ryoya

2024.07.26 ○ 福井萌矢 3R判定

2024.03.17 ✕ 松下武蔵 延長R判定

2024.02.23 ◎ 松永隆 3RTKO

2022.10.23 ○ 竹内龍馬 3R判定

2022.07.24 ○ 若原聖 3R判定



9月の「RISE WORLD SERIES」で弾丸風太戦に必殺のバックハンドブローをさく裂させ、1Rわずか43秒でKO勝ちした塚本が早くも次戦に臨む。風太戦の後は外国人選手との対戦をアピールしていたが、かねてからOFGマッチに興味を示しており、OFGデビュー戦となった。ジュニア時代から培ったテクニックと自慢のパンチ力でどんな試合を見せてくれるのか、興味は尽きないところだ。

対する伊東は空手出身で、キックボクシングではStand up King of Rookie 2022 -55kg級で優勝。2022年5月よりRISEに出場し、2024年3月の7戦目で松下武蔵に延長戦の末に初黒星を喫したが、7月に福井萌矢を破り再起した。空手出身者にとってOFGは素手に近く、感覚がつかみやすいと言われている。OFGで実力が開花する選手もいることから、格上の塚本を喰ってしまう可能性もあると言えるだろう。ましてや今回の契約体重は伊東に有利な55kgとなっており、塚本がテクニックで階級差を攻略できるかが見どころとなる。



FIGHT CLUB 2

MAX YOSHIDA

MAX吉田

第9代インターナショナルマーシャルアーツ王者

TEAM岡見/HASEGAWAサーカス団

185cm

1987年11月5日(36)

東京都板橋区

オーソドックス

キックボクシング 4戦4敗

MMA 1戦1敗

巖流島 1戦1敗

✕ @MAX_YOSHIDA_MAX

📷 max.yoshida

2024.05.19 ✕ 武中秀武 1RKO

2023.05.28 ✕ ミヤギン 1RKO

2022.07.29 ✕ カリュ・ギブレイン 3R判定

2021.06.20 ✕ 坂本優起 1RTKO

2nd

無差別級
3min3R

所属

身長

生年月日

出身地

構え

戦績

SNS

直近の戦績

SATO HIKARU

佐藤光留

世界ジュニアヘビー級王者
KO-D 無差別級王者

パンクラス MISSION

174cm

1980年7月8日(44)

岡山県岡山市

オーソドックス

MMA 51戦24勝23敗4分(15KO)

✕ @hikaru310paipan

📷 hikaru310doa

2017.08.20 ✕ 桜井隆多 2RTKO

2017.02.05 ○ ジョナサン・アイビー 1RTKO

2016.01.31 ✕ セルゲイ・マルティノフ 1RTKO

2015.08.09 ○ シヤノン・"ザ・キャノン"・リッチ 1RKO

2014.12.31 ○ 藤沼弘秀 1RKO



どんな結末を迎えるのか。全く予想できない重量級の一戦だ。MAX吉田はコワモテのキャラが光る36歳。見た目はハードボイルドそのものながら、実は雪見だいふくが大好きというギャップもセールスポイントだ。リングサイドに知り合いの記者がいると、妙に掛け合いを求めようとするなど、フレンドリーな一面もある。最近ではRISEを主戦場とするが、MMA、ブラジリアン柔術、プロレスと何でもこなす器用な面も持ち合わせている。

対する佐藤光留は2000年にパンクラスでMMAデビューを果たし、2008年からは活動の拠点をプロレスにシフトチェンジした大ベテラン。昨年12月27日には1日5試合を勝ち抜くというベテランらしからぬ無尽蔵のスタミナを見せ、インディペンデント・ワールド・ジュニアヘビー級王座を獲得した。MMAでも51戦のキャリアを誇るため、オープンフィンガーグローブにも違和感はあるまい。ともにプロ中のプロだけに、凡戦だけはありえない。



FIGHT CLUB 2

KENTA TANOUÉ

田上健太

1st
60kg
3min3R

SAIGO

平成29年度 日本拳法・全日本体重別選手権大会 軽量級 優勝
第63回全日本学生拳法選手権大会 優勝(7連覇) / 最優秀選手賞

フリー

158cm

1990年1月11日(34)

福岡県福岡市

オーソドックス

所属

身長

生年月日

出身地

構え

TARGET SHIBUYA

162cm

1997年3月6日(27)

大阪府大阪市

スイッチ

16戦4勝11敗1分(3KO)

戦績

6戦3勝2敗1分(1KO)

✕ @kenta_fighter

SNS

✕ @saigo0306

saigo0306

2024.07.27 ✕ 石川章太郎 1RKO
2024.06.16 ◎ 夜叉楼 1RKO
2024.04.28 ✕ カーレッジユウキ 1RKO
2024.01.21 ✕ 中嶋愛樹斗 1RKO
2023.11.29 ✕ 堺龍平 1RTKO

直近の戦績

2024.08.25 ◎ 悠里 2RTKO
2024.05.12 ○ 大島広也 3R判定
2023.12.17 ✕ SHOTA 1RKO
2023.09.24 ✕ 門脇碧泉 3R判定
2023.04.23 ○ 山本巨哉 3R判定

■ FIGHT CLUB.2のオープニングを任せられたのはド突き合い上等の両者だ。

■ 田上健太はアウトサイダーで活躍し、RIZINで2度ベルトを巻きUFCとの契約が決定した朝倉海ともその大会で拳を交えたことがある。最近ではRISEや様々なフィールドでルール問わず闘い会場を盛り上げている。YA-MANもファンと公言し左右のフックのみで相手を倒しにいく姿勢を貫き通している。

対するはこの大会をきっかけに一躍注目を浴びるチャンスを得たSAIGO。YA-MANと同じTARGET SHIBUYA所属で1年前に脱サラし本格的に格闘家への道を歩み始めた。もともと日本拳法では7連覇したこともある強者で、そのポテンシャルは十二分にある。「拳ひとつで人生を変える」その気持ちはこのFIGHT CLUBで通用するのか？

オープンフィンガーグローブ着用のキックルールで期待さえるのはズバリ殴り合い。田上の全弾フルスイングのフックか？それともSAIGOの日本拳法仕込みのパンチか？弱肉強食のリングで生き残るのはどっちだ！？

FIGHT CLUB.2